

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいています。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思えます。

間もなく大震災から1年を迎えます。3月11日には、県民をあげて犠牲者を慰霊・追悼し、復興に向けた決意を新たにすため、各地で追悼式が行われます。そんな岩手の今を御紹介します。

【陸前高田市・ワタミのコールセンター稼働開始】

2月3日、飲食店チェーン「ワタミ」の子会社で、高齢者向けの弁当宅配事業を全国展開する「ワタミタクシヨク」の受付センターが、陸前高田市で稼働開始しました。震災以降、陸前高田市への本格的な企業立地は、このコールセンターが第一号です。



建物の竣工式は、1月25日に行われ、震災以降、陸前高田市の参与を務めている、ワタミの渡邊美樹会長も訪れ、従業員を激励しました。

従業員は、正社員としてこの春卒業予定の高校生が2名、パート採用は70人。(2月3日時点) 今後、採用枠を150人ほどまでに増やしていく方針とのことです。

【大船渡市・企業の連携で復興へ】

大船渡市の「理工電気」。電子部品などの組み立てを中心に、地域のものづくりを支えてきた地元企業です。東日本大震災による工業・製造業の被害額は約890億円。「理工電気」でも工場が被災するなど大きな被害を受けました。

そうした被災企業が再起する手助けとなっているのが、県の「被災ものづくり企業支援サポーター登録制度」。内陸の同業者が、人・ものを通じて被災企業をサポート。企業同士のつながりが復興を後押しします。



これまでにこの制度を活用し、事務用品や工具類などが被災地企業に提供されています。「理工電気」では、北上市の企業による機材の修理協力の支援を受けました。

写真は、「理工電気」崎山淳史さん「色々な方々の協力のお陰で、早く復旧できたなと思っております。私たちものづくりを取り巻く環境は、非常に厳しいですけれども、何とかこの地でこの仕事を継続して世界で戦えるような仕事をしていきたいと思っております」

>>>詳しくは(バックナンバー) ... <http://goo.gl/ZHKcX>

県政番組「いわて希望のちから」
いわて希望のちから 第35回～企業の連携で復興へ～
(2月6、7、9、12日放送)

【ありがとう！頑張ってます！】 「らーめんの千草(久慈市)」、横浜で元気発信！

1月18日から5日間、久慈市の「らーめんの千草」が新横浜ラーメン博物館に限定復活しました。これは被災地復興支援として、同博物館が過去に出店した店舗の味を紹介しようと企画したもの。「千草」の出店は2005年以来です。その「千草」がある久慈市も津波被害が大きく、店の50メートル先までが浸水しました。



行列の絶えない同博物館
「千草」店舗前 (1/21)

3代目の遠藤圭介さんは、横浜で一步踏み出すことで岩手の人を勇気づけ、励ましてくれた関東の人たちに恩返しができたらと、支援への感謝の気持ちを胸に、一杯一杯心を込めてラーメンを作りました。

岩手県の被害状況(2月20日現在)

- 人的被害 死者：4, 670名
行方不明者：1, 313名
- 建物被害(住家のみ、全半壊)：24, 746棟

皆様のご支援、ありがとうございます。

- ★義援金受付状況(1月31日現在)
約167億 674万円(75,491件)
～市町村を通して被災者へ配分されます～
- ★寄付金受付状況(1月31日現在)
約151億8,207万円(4,762件)
～県が行う復旧・復興の財源として使われます～
- ★いわての学び希望基金受付状況(2月8日現在)
約33億1,700万円(4,633件)
～被災した子どもの支援に使われます～

>>>義援金・寄付金の募集
<http://www.pref.iwate.jp/~bousai/jyouhou/volunteer.html>

【「岩手復興フォーラム」を開催しました】

2月3日、県主催の「東日本大震災津波 岩手復興フォーラム」を東京都内で開催しました。

当日は首都圏の企業経営者の方々など約400名が参加。県からこれまでの復興支援への感謝を伝えるとともに、今後の本県の復興への取り組みに対する継続的な支援・参画をお願いしました。

今後も県内外、さらには世界の人々とともに本県の復興を成し遂げていく「開かれた復興」の観点から、復興の取り組みなどの情報発信を行っていきます。



達増知事による基調報告

>>>詳しくは…

http://www.pref.iwate.jp/~hp0212/fukkou_net/forum_01.html

【「医療特区」が認定されました】

2月9日、病院の医師や看護師の配置基準の緩和などを盛り込んだ「保健・医療・福祉特区」が認定されました。1月31日に県が国に申請していたものが認定されたものです。

被災地の医療を担いたいという方の招へいに力を入れ、住民の生活に必要な不可欠な保健、医療及び福祉サービスの再構築を迅速かつ効率的に進めていきます。

【駐日バーレーン王国大使からボールの寄贈】

2月2日、県庁を訪れた駐日バーレーン王国大使からサッカーボールの寄贈がありました。この日は、岩手県へのメッセージを寄せ書きしたバーレーン国旗の寄贈もありました。



イーハトーブいわて物語

～そういう旅に私はしたい。

2月13日、JRグループと岩手県が協力して開催する大型観光キャンペーン「いわてデスティネーションキャンペーン（いわてDC）」（期間：4月1日～6月30日）の内容が、同推進協議会（会長：達増拓也知事）の総会で決定されました。

キャンペーンの目玉は、沿岸と内陸部を結ぶ「復興応援バスツアー」で、3コースでの運行が決定（以下参照）。バスツアーでは、被災者が語り部となり震災時の体験談を語るほか、震災パネル展の見学も行う予定。仮設店舗や観光施設での買い物もできます。

【いわてデスティネーションキャンペーン（いわてDC）】 2012.4/1▶6/30 キャンペーンの内容が決定！！

また、このバスツアーは、代金のうち500円が被災地への復興支援金として寄附されます。

このほか、平泉から八幡平温泉郷などに向かうバスコースの新設や、平泉と盛岡市を結ぶ高速バスの増発も決定。さらに、期間中は盛岡市で5月に開催される「東北六魂祭」など県内各地でさまざまなイベントを展開するとともに、6月には一ノ関―北上間、北上―釜石間で蒸気機関車「D51」を運行します。

この機会に是非岩手へ！「わんこきょうだい」ともども、おもてなしの心で皆様をお迎えします！

復興応援バスツアー



陸前高田
・
大船渡号

一関方面から陸前高田・大船渡を経由し花巻温泉に向かうコース【岩手県交通 019-651-3355】

巖美溪温泉⇒一ノ関駅⇒陸前高田市⇒大船渡市⇒穴通磯⇒おさかなセンター⇒えさし藤原の郷⇒花巻温泉⇒盛岡駅西口（運行日：4/14～9/30の土日祝、4/21～5/6の毎日）



遠野
・
釜石号

花巻から遠野や釜石を経由し花巻温泉などに向かうコース【花巻観光バス 0198-26-3122】

花巻南温泉峡⇒花巻温泉郷⇒新花巻駅⇒遠野風の丘⇒釜石鉄の歴史館⇒釜石駅前鈴子広場仮設店舗群・サンフィッシュ⇒遠野カップ淵・伝承園⇒新花巻駅⇒花巻空港⇒花巻温泉郷⇒花巻南温泉峡（運行日：4/14～11/25の土日祝、4/21～5/6の毎日）



龍泉洞
・
北部陸中
海岸号

盛岡から龍泉洞や浄土ヶ浜を経由し盛岡に戻るコース【岩手県北バス 019-641-2222】

鶯宿温泉森の風⇒つなぎ温泉⇒盛岡駅西口⇒龍泉洞⇒北山崎⇒田老⇒浄土ヶ浜⇒宮古駅⇒盛岡駅（運行日：4/1～6/30の土日祝、4/13～5/5の毎日、7/21～8/19の土日月）

被災地支援金つき

（復興支援としてツアー代金のうち500円が寄附されます）

被災者による震災語り部ガイドあり



わんこきょうだい

「わんこきょうだい」は、岩手のおもてなし料理「わんこそば」と生産量日本一の漆を使った器をモチーフにした岩手県PRキャラクターです。

>>>詳細はこちら・・・

岩手県の観光ポータルサイト『いわての旅』

<http://www.iwatetabi.jp/>



いわて復興だより 第15号 平成24年2月20日

発行：岩手県復興局総務課 ☎ 019-629-6918 ✉ AJ0001@pref.iwate.jp

◆復興だよりバックナンバーはこちらから → <http://bit.ly/qBFB0z>